

- 系 統 低弾性超速硬ポリマーセメントモルタル
- 特 長 1) 東・中・西日本高速道路(株) 性能試験完了材料 床版上面における断面修復の性能照査項目「構造物施工管理要領」(令和2年7月) 適合品。  
2) 既設構造物と同等の弾性係数(26.5±5 kN/mm<sup>2</sup>)を実現。  
3) 急速施工や早期交通開放が可能(施工後2時間で10 N/mm<sup>2</sup>以上、4時間で24 N/mm<sup>2</sup>以上の圧縮強度が得られる)。  
4) 使い勝手の良い製品パッケージと安定した品質を確保。

用 途 1) 床版上面断面修復用材料

荷 姿

名 称	ミニパック (約 12.5ℓ /セット)	ベースパック (約 143.3ℓ /セット)
プレミックス粉体	25 kg/袋	283 kg/袋
混和液	1 箱 (3.2 kg/袋×4 袋)	18 kg/缶
SBセッター	1 kg/袋	
CPJ-L仕上げ養生剤	4 kg/缶、18 kg/缶	

外 観 性 状 ベースパック、ミニパック…プレミックス粉体  
混和液…白色液体 SBセッター…白色顆粒状 CPJ-L 仕上げ養生剤…白色液体  
混合物…灰色粘稠液状(モルタル状)

品質保証期間 製造後3か月 (未開封、冷暗所保存) ※受注生産品

消防法による区分 いずれの成分も該当しない

毒物及び劇物取扱 法 いずれの成分も該当しない

- 使用 方法
- 1) 施工時の温度(気温、材料温度等)から、SBセッター添加量を決定する。
  - 2) SBセッターをベースパックの場合は練り混ぜ水に、ミニパックの場合は混和液に溶かす。
  - 3) プレミックス粉体(ベースパックまたはミニパック)をミキサに投入する。
  - 4) 混和液、水(ベースパックのみ)、SBセッターを投入し、2分程度攪拌し排出、打設を行う。
  - 5)きれいに仕上げる場合は、CPJ-L 仕上げ養生剤1:清水4の重量比で希釈し、0.15 kg/m<sup>2</sup>を限度として散布する。過剰散布はひび割れの原因となるため、過剰に散布しないこと。

可使時間の目安  
および 配合

	ミニパック (1セット当たり)			ベースパック (1セット当たり)		
	5~15	15~25	25~35	5~15	15~25	25~35
施工時の温度[°C]	5~15	15~25	25~35	5~15	15~25	25~35
SBセッター投入量[g]	10~30	30~50	50~130	110~340	340~570	570~1470
混和液投入量[kg]	3.2			12		
練り混ぜ水投入量[kg]	-			24.2		
可使時間の目安[分]	約 20~30					

使用上の注意

- 1) 施工要領書を読み、よく内容を理解してから施工する。
- 2) 練り混ぜにはアルミ製の攪拌羽根のミキサは絶対に使用しない。
- 3) 急激な乾燥や直射日光を避けるため、打設から強度が発現する2時間程度まではシート掛けなどを行う。シート養生が難しい場合は、現場状況に応じて養生剤などの使用を検討すること。

### ⚠ 注 意

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については安全データシート(SDS)を参照してください。